

令和8年度岩手大学入学者選抜における 募集人員及び実施教科・科目等について

令和6年12月27日
岩手大学

令和8年度岩手大学入学者選抜における募集人員並びに大学入学共通テストで利用する教科・科目及び一般選抜で課す教科・科目等について、お知らせします。

なお、今後諸事情により内容が一部変更となる可能性もあります。
詳細については、「令和8年度入学者選抜要項（令和7年7月公表予定）」及び各種学生募集要項で必ず確認してください。

【令和7年度からの主な変更点】

○人文社会科学部

募集人員及び実施教科・科目等についての変更はありませんが、人文社会科学部の「入学受入方針（アドミッション・ポリシー）」に一部変更がありますので、公表します。

○教育学部

前年度からの変更はありません。

○理工学部

募集人員の変更

学科・課程等		一般選抜		学校推薦 型選抜	総合型選抜	
		前期 日程	後期 日程		I	II
理 工 学 部	化 学 ク ラ ス	38	12	10		
	数理・物理クラス	22	4	4		
	材料科学クラス	29	9	7		
	情報系クラス	35	12	8		
						5
	電気電子・情報通信クラス	37→36	12→11	10	5	0→2※
	機械知能航空クラス	48→44	15→14	15→16		0→4※
	社会基盤・環境工学クラス	33	5	20	5	
データサイエンス応用オープンクラス		14				
計		251	67	75	10	11
前年度からの増△減		△5	△2	+1		+6

※電気電子・情報通信クラス及び機械知能航空クラスの総合型選抜Ⅱ募集人員は、女子枠での募集になります。

実施教科・科目等の変更

理工学科電気電子・情報通信クラスおよび機械知能航空クラスで、女子枠限定とした総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）を実施します。この選抜では、大学入学共通テストにおいて6教科8科目の受験を必要とします。

なお、これにより変更された、理工学部の「入学受入の方針（アドミッション・ポリシー）」も併せて公表します。

○農学部

実施教科・科目等の変更

一般選抜前期日程の個別試験において実施していた「大学入学希望理由書」を廃止し、代わりに調査書を利用します。

総合型選抜Ⅱにおいて大学入学共通テストの利用科目を次のとおり変更します。
 地域環境科学科（革新農業コース，森林科学コース）では， 6教科8科目の受験を必要とし， 3科目の成績を利用します。
 その際「理科」の第1解答科目の成績を必ず利用し，残りの2科目は6教科7科目の中から高得点の2科目の成績を利用します。

なお，これにより変更された，農学部「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」も併せて公表します。

○獣医学部
 募集人員の変更

学 科	一般選抜		学校推薦 型選抜	総合型選抜		
	前期日程	後期日程		Ⅰ	Ⅱ	
					一般枠	地域枠
共 同 獣 医 学 科	20→18				8→10	2
計	18				10	2
前年度からの増減	△2				+2	0

実施教科・科目等の変更

一般選抜前期日程の個別試験において実施していた「大学入学希望理由書」を廃止し，代わりに調査書を利用します。

なお，これにより変更された，獣医学部の「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」も併せて公表します。

令和8年度岩手大学学生募集人員

学部	学科・課程等		入学定員	募集人員						備 考		
				一般選抜		学 校 推 薦 型 選 抜	総合型選抜					
				前期日程	後期日程		I	II	私費外国人 留学生選抜			
人文社会科学部	人 間 文 化 課 程		125	63	22	40				若干名		
	地 域 政 策 課 程		75	43	12	20				若干名		
	計		200	106	34	60				若干名		
教育学部	学校教育 教員養成 課程	小 学 校 教 育 コ ー ス	88	48	15	25					※1 数学サブコース 及び理科サブ コースの学校推 薦型選抜の入学 者は、「小学校教 育専修」に所属 することになりま す。	
		中学校 教 育 コ ー ス	29	国 語 サ ブ コ ー ス	5							
				社 会 サ ブ コ ー ス	5							
				英 語 サ ブ コ ー ス	5		3					
				音 楽 サ ブ コ ー ス	3							
				美 術 サ ブ コ ー ス	2		1					
				保 健 体 育 サ ブ コ ー ス	3		2					
		理 数 育 コ ー ス	32	数 学 サ ブ コ ー ス	12		※1 5					
				理 科 サ ブ コ ー ス	10		※1 5					
		特 別 支 援 教 育 コ ー ス	11	5	2	4						
計		160	98	17	45							
理工学部	理工学科 ※2	化 学 ク ラ ス	414	38	12	10				若干名	※2 クラスとは初年次教育 における括りです。 ※3 総合型選抜Ⅱの入学 者は、クリエイティブ情 報コースに進級します。 ※4 地域協創ものづくりプ ログラムの募集人員と なります。 ※5 地域防災・まちづくり プログラムの募集人 員となります。 ※6 女子枠の募集人員に なります。	
		数 理 ・ 物 理 ク ラ ス		22	4	4				若干名		
		材 料 科 学 ク ラ ス		29	9	7				若干名		
		情報系クラス		35	12	8				若干名		
								※3 5				
		電 気 電 子 ・ 情 報 通 信 ク ラ ス		36	11	10	※4 5	※6 2		若干名		
		機 械 知 能 航 空 ク ラ ス		44	14	16		※6 4		若干名		
		社 会 基 盤 ・ 環 境 工 学 ク ラ ス		33	5	20	※5 5			若干名		
		デ ー タ サ イ エ ン ス 応 用 オ ー プ ン ク ラ ス		14								
		計		414	251	67	75	10	11			若干名
農学部	食 料 農 学 科	農 学 コ ー ス	50	20	3	4		3		若干名		
		食 品 健 康 科 学 コ ー ス		13	2	3		2		若干名		
	生 命 科 学 科	分 子 生 物 機 能 学 コ ー ス	51	17	3	3		2		若干名		
		分 子 生 命 医 科 学 コ ー ス		17	5	2		2		若干名		
	地 域 環 境 科 学 科	革 新 農 業 コ ー ス	70	21	4	7		5		若干名		
		森 林 科 学 コ ー ス		20	3	7		3		若干名		
	動 物 科 学 ・ 水 産 科 学 科	動 物 科 学 コ ー ス	55	23	3	9				若干名		
		水 産 シ ス テ ム 学 コ ー ス		10	3	5		2		若干名		
計		226	141	26	40		19		若干名			
獣医学部	共 同 獣 医 学 科		30	18				※7 12		若干名	共同獣医学科の修業 年限は、6年です。 ※7 （総合型選抜Ⅱ 募集人員内訳 一般枠 10 地域枠 2）	
	計		30	18				12		若干名		
合 計			1,030	614	144	220	10	42		若干名		

・教育学部の入学定員は学校教育教員養成課程160名ですが、入学定員欄にはコース毎の募集人員計を表示しています。

・総合型選抜及び学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員補充は一般選抜で行います。

(1) 理工学部

学科等名		日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
理工学科	化学クラス 数理・物理クラス 材料科学クラス 情報系クラス 電気電子・情報通信クラス 機械知能航空クラス 社会基盤・環境工学クラス	前期日程 2月25日	国	国	数	数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C
			地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「地総／歴総／公」、 「公、倫」、「公、政・経」	理 その他	物理基礎・物理、化学基礎・化学から1 [2教科2科目] 調査書(注)
		後期日程 3月12日	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	数	数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C
	データサイエンス 応用オーブンクラス	前期日程 2月25日	理	物、化、生から2	理	物理基礎・物理、化学基礎・化学から1 [2教科2科目]
			外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1	その他	調査書(注)
			情	情報Ⅰ [6教科8科目]		
	データサイエンス 応用オーブンクラス	前期日程 2月25日	国	国	数	数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C
			地歴 公民	「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「地総／歴総／公」、 「公、倫」、「公、政・経」	理 その他	物理基礎・物理、化学基礎・化学から1 [2教科2科目] 調査書(注)
			数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」		
	データサイエンス 応用オーブンクラス	前期日程 2月25日	理	物、化、生から2		
			外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1		
			情	情報Ⅰ [6教科8科目]		
	化学クラス 数理・物理クラス 材料科学クラス 情報系クラス 電気電子・情報通信クラス 機械知能航空クラス 社会基盤・環境工学クラス	学校推薦型 11月下旬	大学入学共通テストは課さない。			その他 書類審査、面接及び口頭試問 調査書

学科等名		日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等	
			教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等
理工学科	電気電子・情報通信クラス 機械知能航空クラス	総合型Ⅰ (地域協創ものづくりプログラム) [1次] 9月下旬 [2次] 10月上旬	大学入学共通テストは課さない		その他	[第1次選考] 書類審査 [第2次選考] プレゼンテーション、面接及び口頭試問
	社会基盤・環境工学クラス	総合型Ⅰ (地域防災・まちづくりプログラム) [1次] 9月下旬 [2次] 10月上旬	大学入学共通テストは課さない		その他	[第1次選考] 書類審査 [第2次選考] プレゼンテーション、面接及び口頭試問
	情報系クラス クリエイティブ情報コース	総合型Ⅱ [プレゼンテーション試験] 10月上旬 [2次]－	国 地歴 公民	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「地総／歴総／公」、 「公、倫」、「公、政・経」	その他	[プレゼンテーション試験] 書類審査、プレゼンテーション
	電気電子・情報通信クラス 機械知能航空クラス	総合型Ⅱ (女子枠) [面接試験] 10月上旬 [2次]－	国 地歴 公民	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「地総／歴総／公」、 「公、倫」、「公、政・経」	その他	面接

備考

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- ・ 『「地理歴史」、「公民」』から2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

- ・ 数Aの出題範囲は、「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。
- ・ 数Bの出題範囲は、「数列」とします。
- ・ 数学Cの出題範囲は、「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」とします。

(注) 調査書により、「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

(2) 農学部

学科等名	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
食料農学科 （農学コース， 食品健康科学 コース） 生命科学科 （分子生物機能 学コース，分子 生命医科学コース） 動物科学・水産科学科 （動物科学コース） （水産システム 学コース）	前期日程 2月25日	国	国	数	数Ⅰ・Ⅱ・A・B・C
		地歴 公民	「地総，地探」，「歴総，日探」， 「歴総，世探」， 「地総／歴総／公」， 「公，倫」，「公，政・経」	理	物理基礎・物理， 化学基礎・化学， 生物基礎・生物
		数	「数Ⅰ，数A」，「数Ⅰ」から1と 「数Ⅱ，数B，数C」	その他	[1教科1科目] 調査書
	後期日程 3月12日	理	物，化，生，地から2	その他	個人面接
		外 情	英(リスニングを含む)，独，仏，中，韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]		
	学校推薦型 11月下旬		大学入学共通テストは課さない。	その他	小論文 個人面接
	総合型Ⅱ 12月中下旬	国	国	その他	個人面接
		地歴 公民	「地総，地探」，「歴総，日探」， 「歴総，世探」， 「地総／歴総／公」， 「公，倫」，「公，政・経」		
		数	「数Ⅰ，数A」，「数Ⅰ」から1と 「数Ⅱ，数B，数C」		
		理	物，化，生，地から2		
		外 情	英(リスニングを含む)，独，仏，中，韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]		
地域環境科学科 （革新農業コース， 森林科学コース）	前期日程 2月25日	国	国	数	数Ⅰ・Ⅱ・A・B・C
		地歴 公民	「地総，地探」，「歴総，日探」， 「歴総，世探」， 「地総／歴総／公」， 「公，倫」，「公，政・経」	理	物理基礎・物理，化学基礎・化学， 生物基礎・生物
		数	「数Ⅰ，数A」，「数Ⅰ」から1と 「数Ⅱ，数B，数C」	その他	[1教科1科目] 調査書
	後期日程 3月12日	理	物，化，生，地から2	その他	個人面接
		外 情	英(リスニングテストを含む)，独，仏，中，韓から1 情報Ⅰ		
	総合型Ⅱ 12月中下旬	国	国	その他	個人面接
		地歴 公民	「地総，地探」，「歴総，日探」， 「歴総，世探」， 「地総／歴総／公」， 「公，倫」，「公，政・経」		
		数	「数Ⅰ，数A」，「数Ⅰ」から1と 「数Ⅱ，数B，数C」		
		理	物，化，生，地から2		
		外 情	英(リスニングを含む)，独，仏，中，韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]		
	学校推薦型 11月下旬		大学入学共通テストは課さない。	その他	小論文 個人面接

備考

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- ・『「地理歴史」，「公民」』から2科目受験した場合は，第1解答科目の成績を利用します。

(注) 地域環境科学科が行う総合型Ⅱでは，6教科8科目の受験を必要とし，「理科」の第1解答科目の成績を必ず利用し，残りの2科目は6教科7科目の中から高得点の2科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

- ・数学Aの出題範囲は，「図形の性質」，「場合の数と確率」とします。
- ・数学Bの出題範囲は，「数列」とします。
- ・数学Cの出題範囲は，「ベクトル」とします。

(3) 獣医学部

学科等名	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
共同獣医学科	前期日程 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「地総／歴総／公」、 「公、倫」、「公、政・経」 } から1 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 その他	数Ⅰ・Ⅱ・A・B・C 物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物 } から1 [2教科2科目] 調査書
	総合型Ⅱ 12月中下旬	国 地歴 公民 数 理 外 情	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、 「歴総、世探」、 「地総／歴総／公」、 「公、倫」、「公、政・経」 } から1 「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]	その他	[第1段階選抜] (志願倍率が4倍を超えた場合実施することがある) 書類審査 [第2段階選抜] 個人面接

備考

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- ・『「地理歴史」、「公民」』から2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

- ・数学Aの出題範囲は、「図形の性質」、「場合の数と確率」とします。
 - ・数学Bの出題範囲は、「数列」とします。
 - ・数学Cの出題範囲は、「ベクトル」とします。
 - ・共同獣医学科が行う総合型Ⅱの第1段階選抜に用いる書類は、出願理由書、調査書とします。
- なお、第1段階選抜が行われなかった場合も、面接の基礎資料として使用します。

入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：人文社会科学部

1 学部概要

人文社会科学部は、グローバル化の下で著しく変化する現代社会の諸問題を総合的観点から理解する能力と、人間・文化・社会・環境に関する専門的知識・能力を有し、地域社会及び国際社会に実践を通して貢献できる人材の養成を目指しています。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学部共通》

（1）知識・技能・理解

人間・文化・社会・環境に関する基礎的知識・技能を有し、物事を論理的に考えることができる人

（2）思考力・判断力・表現力

多様な考え方、異質なものの見方を理解しようとする柔軟な姿勢を持ち、物事を多角的に捉えるとともに、自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人

（3）関心・意欲

人間・文化・社会・環境のあり方とそれらをめぐる諸問題について強い探究心と広い観点から学ぶ意欲を持つ人

（4）主体性・協働性

地域社会・国際社会の諸問題に実践的に取り組み、周囲の人々と協働しながら問題の解決を図ろうとする人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

- ・国語：読解力及び自分の考えを表現できる作文力
- ・英語：基本的な読解力・リスニング力・会話力・作文力
- ・地歴・公民：日本及び世界の地理・歴史・社会制度・社会思想などに関する基礎的知識と社会事象に対する関心
- ・数学：数学の基本的な概念を理解し、論理的に思考する力
- ・理科：日常生活や社会に見られる科学的な事象に対する基礎的知識
- ・情報：情報社会と情報通信技術、データ活用に関する基礎的知識
- ・高校生活全般：他人と積極的に関わることでできるコミュニケーション力

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

（1）一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別学力検査では「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

（2）一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価し、小論文では「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

（3）学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

小論文では「思考力・判断力・表現力」を評価し、面接では「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を評価します。また、出願理由書では「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を、調査書では「知識・技能・理解」「主体性・協働性」を確認します。

（4）私費外国人留学生入試

小論文では「思考力・判断力・表現力」を評価し、面接・出願理由書では「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を評価します。また、日本留学試験では日本語に関する基礎的能力を含めて「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

【人間文化課程】

1 課程概要

人間文化課程は、多様な固有文化を育み、歴史的に継承されてきた地域のあり方と、そこに暮らす人間の行動を多角的に学修し、グローバル化を踏まえた地域づくりと住民の心身両面の健やかな生活に貢献できる人材、及

び地域の来歴を踏まえ、文化を世界に向けて発信できる人材を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

（1）知識・技能・理解

人間・言語・文化・芸術・スポーツについて学ぶための基礎的知識・技能を有し、物事を論理的に考えることができる人

（2）思考力・判断力・表現力

多様な特性をもつ人間・言語・文化・芸術・スポーツをめぐる諸現象を多角的に捉えるとともに、自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人

（3）関心・意欲

人間・言語・文化・芸術・スポーツをめぐる諸問題について地域及び世界双方の広い観点から学ぶことに高い関心を持つ人

（4）主体性・協働性

人間・言語・文化・芸術・スポーツに関する学修を実践に活かし、周囲の人々と協働しながら地域社会・国際社会の諸問題を解決しようとする強い熱意を持つ人

【地域政策課程】

1 課程概要

地域政策課程は、東日本大震災の復興から、未来のモデルとなる持続可能な社会づくりへの道筋を見据え、地域創生・地域マネジメントへの課題に、法学・経済学・環境学それぞれの分野の学修を軸としながら、総合的視点から取り組むことのできる人材を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

（1）知識・技能・理解

法学・経済学・環境学について学ぶための基礎的知識・技能を有し、物事を論理的に考えることができる人

（2）思考力・判断力・表現力

複雑に絡み合う法・経済・環境をめぐる諸現象を多角的に捉えるとともに、自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人

（3）関心・意欲

現代の社会をめぐる諸問題について、法学・経済学・環境学の広い観点から学ぶことに高い関心を持つ人

（4）主体性・協働性

法学・経済学・環境学に関する学修を実践に活かし、周囲の人々と協働しながら地域社会・国際社会の諸問題を解決しようとする強い熱意を持つ人

<別表>選抜に活用する評価方法とその評価項目

(1) 選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
小論文	一般（後期）	提示した問題・課題を通して、「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」に関する基礎的な能力を判定する。
小論文	学校推薦型 私費外国人留学生	提示した問題・課題を通して、「思考力・判断力・表現力」に関する基礎的な能力を判定する。
面接	学校推薦型	推薦書・出願理由書・調査書に関する質疑を行うことによって「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」について判定する。
面接	私費外国人留学生	出願理由書に関する質疑を行うことによって、「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」について判定する。
出願理由書	学校推薦型 私費外国人留学生	本学部を志望する理由を、これまでの勉学や様々な活動を通じて育まれた問題意識、本学部の教育内容、大学卒業後の希望進路などを踏まえて記入する。「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲」「主体性・協働性」を判定する際の1つの資料にする。
調査書	学校推薦型	高等学校での科目の履修状況に加えて、教科外活動の状況やボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得なども評価対象とする。「知識・技能・理解」「主体性・協働性」を判定する際の1つの資料とする。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目

入学者選抜方法	該当選抜区分	知識・技能・理解	思考力・ 判断力・ 表現力	関心・意欲	主体性・ 協働性
大学入学共通 テスト	一般（前期）	○	○		
	一般（後期）				
個別学力検査	一般（前期）	○	○		○
小論文	一般（後期）		○		○
	学校推薦型 私費外国人留学生		○		
面接	学校推薦型		○	○	○
	私費外国人留学生				
出願理由書	学校推薦型		○	○	○
	私費外国人留学生				
調査書	学校推薦型	○			○
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○		

※一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）においては調査書は、高大接続及び学力の3要素評価の観点から、総合判定時の資料として活用します。

入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：理工学部

1 学部概要

我が国が目指す未来社会で必要とされる情報リテラシーと確かな専門性を併せ持ち，地球環境問題をはじめとする国際社会ならびに地域社会が抱える諸課題の解決に貢献できる理工系人材を育成します。

2 入学者に求める資質

＜理工学部・理工学科共通＞

【知識・技能】

- ・ 高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに，より広い教養と深い専門性を身に付けたいという意欲を持つ人
- ・ 理工学分野の専門の学修を始めるのに必要な知識と技能を獲得している人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 修得した知識と技能を組み合わせ，論理的な思考に基づく適切な判断ができるとともに，それを適切に他者に表現することができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

- ・ 自らが選択する専門分野の学修に，主体的に取り組もうとする人
- ・ 大学での学びのなかで，広く社会との関わりに関心を持ち，積極的に多様な人々と協働しようとする人

＜クリエイティブ情報コース（総合型選抜）＞

【知識・技能】

- ・ 高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに，情報デザインに強い関心を持つ人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 修得した知識と技能を組み合わせ，創造的な思考・判断ができるとともに，それを他者に表現することができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

- ・ 情報や情報技術について学んだことを主体的に活用しようとする人
- ・ 多様な価値観を理解し，様々な分野の人と協働しようとする人

＜電気電子・情報通信コース，機械知能航空コース（総合型選抜(女子枠)）＞

【知識・技能】

- ・ 高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに，より広い教養と深い専

門性を身に付けたいという意欲を持つ人

- ・ 理工学分野の専門の学修を始めるのに必要な知識と技能を獲得している人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 修得した知識と技能を組み合わせ、論理的な思考に基づく適切な判断ができるとともに、それを適切に他者に表現することができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

- ・ 自らが選択する専門分野の学修に、主体的に取り組もうとする人
- ・ 理工学分野での女性の活躍が社会的にも意義を理解し、社会の多様性を尊重しながら、積極的に他者と協働することを目指す人

<データサイエンス応用オープンクラス（一般選抜・前期日程）>

【知識・技能】

- ・ 高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに、データサイエンスに強い関心を持つ人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 修得した知識と技能を組み合わせ、創造的な思考・判断ができるとともに、情報系技術を活用してそれらを表現することができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

- ・ データサイエンスについて学んだことを主体的に活用しようとする人
- ・ 多様な価値観を理解し、様々な分野の人と協働しようとする人

<地域協創ものづくりプログラム（総合型選抜）>

【知識・技能】

- ・ 工学を学ぶために必要な基礎的な学力を持つ人
- ・ ものづくりに対する経験を持つ人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ ものづくりを実践するために必要な思考力と判断力を持つ人
- ・ ものづくりを実践するために必要なコミュニケーション能力を持つ人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

- ・ ものづくりに関心を持ち、独自技術を開発したいという意欲を持つ人
- ・ 地域課題に関心を持ち、主体性を持って協働できる人

<地域防災・まちづくりプログラム（総合型選抜）>

【知識・技能】

- ・ 防災・まちづくりに関する専門分野を学ぶうえで必要な基礎的な知識や技能を持つ人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 災害に強い社会の実現のために、防災・まちづくりの専門分野に関連する課題を発見・探求できるような豊かな思考力を持ち、広い視野で適切に判断できる力を持つ人
- ・ 周囲とコミュニケーションを円滑にとることができ、必要な相手に防災・まちづくりの専門分野に関連する様々な内容を正確に表現し、伝えることができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

- ・ 自然と調和しながらも災害に強い社会の構築のために、防災・まちづくりに関する様々な課題に関心を持ち、新しい課題を解決しようとする意欲を持つ人
- ・ 防災・まちづくりに関する様々な地域課題において、主体的に創造性豊かな発想ができ、マネジメント力を持つ人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」「数学C」の内容の理解と数学的思考力（高等学校で修得していない科目がある場合は、入学後に理工学部が開講する高大連携科目の履修が必要となります。）
- ・ 理科：「化学基礎・化学」「物理基礎・物理」などの内容の理解と科学的思考力（化学コースへの進級を考えている方には、「生物基礎・生物」の内容も修得していることを期待します。）
- ・ 国語，英語：国際社会で活躍する人材の素養としての読解力，思考力，およびコミュニケーション能力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史，倫理，政治経済，現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

4 入学者選抜の基本方針

（ア）一般選抜（前期日程・後期日程）

入学後の教養教育・専門教育に対応できる知識とその展開力，および理工学部学生としての自然科学全般への俯瞰的視野を重視し，理科系・文科系にわたる幅広い知識と理数系に対する深い思考力および判断力を持つ人を総合的に選抜します。大学入学共通テストと個別試験で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，調査書による「主体性・協働性」の評価と総合して選抜します。なお，データサイエンス応用オープンクラスでは，大学入学共通テストにおける情報Ⅰの成績を重視します。

（イ）学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

個別面接試験で主に「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」を評価し，「主体性・協働性」もあわせて総合的に評価します。選抜にあたっては専門分野への関心・意欲も重視します。

(ウ) 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

- ・ 地域協創ものづくりプログラム

第1次選考は書類審査を行います。提出された自己推薦書・志望理由書により、「思考力・判断力・表現力等の能力」および「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」といった本プログラムで学ぶにふさわしい基本的な素養を評価します。調査書では大学での勉学の基礎となる「知識・技能」を評価します。第2次選考は面接とプレゼンテーションを行います。個人面接の口頭試問では「知識・技能」をより詳細に評価します。プレゼンテーションでは「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を重点的に評価するとともに「思考力・判断力・表現力等の能力」についても併せて評価します。

本選抜においては、工業に関する学科を卒業見込とする者も対象とし、各専門分野への強い関心と必要な基礎学力を持つとともに、「主体性のあるものづくり経験が豊富な学生」の受入を目的としています。

- ・ 地域防災・まちづくりプログラム

第1次選考は、調査書および自己推薦書を基に評価します。第2次選考は、面接（口頭試問を含む）およびプレゼンテーションを基に評価します。第1次選考と第2次選考の2段階にわたって「適性・構想力・論理的な思考力」、「意欲および一定以上の基礎学力」と「主体性・協働性」を重点的に評価し、防災・まちづくりに対するこれまでの活動の経験・実績、または興味・関心事項などを基に「表現力・情報収集能力・コミュニケーション能力」を総合的に評価します。

(エ) 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

- ・ クリエイティブ情報コース

プレゼンテーション試験では、提出された調査書とプレゼンテーションにより「関心・意欲」及び「主体性・協働性」について評価するとともに、クリエイティブ情報コースで学ぶにふさわしい「表現力・コミュニケーション能力」を重点的に評価します。学力検査では、大学入学共通テストにより、クリエイティブ情報コースで学ぶにふさわしい「知識・技能」を評価します。選抜は、プレゼンテーション試験と学力検査の結果を総合的に判断します。

- ・ 電気電子・情報通信コースおよび機械知能航空コース

面接試験では、科学的な知識や考え方について試問し、電気電子・情報通信コース、もしくは機械知能航空コースで学ぶにふさわしい「考察力・表現力・コミュニケーション能力」や、それぞれの専門を学ぶ上で必要とされる適性を評価します。また、岩手大学で学びたいことや、自身の将来像をふまえた志望動機について、論理的かつ明快に説明する能力により「関心・意欲」及び「主体性・協働性」について評価します。学力試験では、大学入学共通テストにより、電気電子・情報通信コース、もしくは機械知能航空コースで学ぶにふさわしい「知識・技能」を評価します。

（オ）私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力試験等を免除し，日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

（カ）その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校や短期大学理工系学部を卒業，または，大学の理工系学部などの教育機関に2年次まで就学し，さらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な学生を求めます。学力試験（英語（外部検定活用），専門科目（筆記試験または口頭試問）または数学（筆記試験））および面接を総合して選抜します。なお機械知能航空コースでは在学中の成績の提出を求め，選考資料とします。

＜別表＞ 選抜に活用する選抜方法の内容とその評価項目

(1) 選抜に活用する選抜方法の内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
大学入学共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 総合型Ⅱ	筆記試験により「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」を評価します。
個別学力検査	一般（前期） 一般（後期） 編入学試験	筆記試験により「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」を評価します。
個人面接	総合型Ⅱ 編入学試験	志望理由等について面接を行い、提出書類に関する確認を行います。理工系科学者・技術者として将来社会に貢献する意欲等も評価します。
個人面接（口頭試問を含む）	学校推薦型 総合型Ⅰ 編入学試験	面接および口頭試問により「関心・意欲」を確認するとともに、「思考力・判断力」を評価します。編入学試験においては、専門分野の学修に必要とされる専門知識を評価します。
プレゼンテーション	総合型Ⅰ 総合型Ⅱ	出題された課題に対するプレゼンテーションを通して、志望するコースやプログラムに対する「関心・意欲」「思考力・判断力」「表現力・コミュニケーション能力」「主体性・創造性・協働性」を総合的に評価します。
日本留学試験	私費外国人留学生	日本語に関する基礎的能力を含めて「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」を評価します。
出願理由書・志望理由書	学校推薦型 総合型Ⅰ 私費外国人留学生	志望理由が、入学者受入の方針に合致しているかを評価します。
推薦書・自己推薦書	学校推薦型 総合型Ⅰ	専門の学修に対する適性と意欲について総合的に評価します。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 総合型Ⅰ 総合型Ⅱ	「主体性・協働性」について評価するとともに、総合判定の資料として活用します。
	学校推薦型	「知識・技能」「主体性・協働性」について評価するとともに、総合判定の資料として活用します。
成績証明書・調査書	編入学試験 （機械知能航空コースのみ）	基礎学力を確認するために、成績証明書と調査書を用い、高等専門学校や短期大学等での生活状況（特別活動・指導上の参考となる諸事項等）を併せて総合的に評価します。
TOEIC Listening & Reading Test	編入学試験	英語の学力を評価します。

(2) 選抜に活用する選抜方法の重点評価項目（入学者選抜方法と求める学生像との関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	知識・技能	思考力・判断力	表現力	関心・意欲	主体性・協働性
大学入学共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 総合型Ⅱ	◎	○			
個別学力検査	一般（前期） 一般（後期） 編入学試験	◎	○			
個人面接	総合型Ⅱ 編入学試験			○	◎	○
個人面接（口頭試問を含む）	学校推薦型 総合型Ⅰ 編入学試験	◎	○	○	◎	○
プレゼンテーション	総合型Ⅰ		◎	◎	○	○
	総合型Ⅱ		◎	◎	◎	◎
出願理由書・志望理由書・（自己）推薦書	学校推薦型			○	◎	○
	総合型Ⅰ				◎	○
	私費外国人留学生				◎	○
日本留学試験	私費外国人留学生	◎	○			
調査書	一般（前期） 一般（後期） 総合型Ⅰ 総合型Ⅱ	○	○	○	○	◎
	学校推薦型	◎	○	○	○	◎
成績証明書・調査書	編入学試験（機械知能航空コースのみ）	◎	○			○
TOEIC Listening & Reading Test	編入学試験	◎				

入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：農学部

1 学部概要

農学部は、幅広く深い教養と豊かな人間性を基礎として、農学の基盤である「食料」「生命」「環境」分野における、基礎的・応用的・統合的な専門知識と技能を修得することにより、地域および国際社会の食料・生命・環境の諸問題の解決に貢献できる人材の養成を目的としています。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学部共通》

（1）知識・技能・理解

- ・ 農学の基盤である「食料」「生命」「環境」分野を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

（2）思考力・判断力・表現力

- ・ 農学分野に関する諸問題を全体的な視点から見出し、論理的にとらえ、探求する思考力と自らの意見をまとめ表現する能力を有する人

（3）関心・意欲・態度

- ・ 学びで得た知識や経験、理論や技術を、明確な目的をもって農学および現実社会の諸課題の解決に生かす意欲のある人

（4）主体性・協働性

- ・ 農学分野に関する諸課題を主体的に学ぶ積極性を持つとともに、創造性豊かな発想をもとに協働して学ぶことのできる人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

- ・ 理科、数学、情報：内容の理解と応用力
- ・ 英語、国語：基礎的な読解力、表現力、文章力
- ・ 地歴・公民：基礎的内容の理解

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

（1）一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別学力検査で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。調査書で「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

（2）一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

（3）学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

小論文試験で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を、調査書で「知識・技能・理解」を中心に総合的に評価します。

（4）総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価し、調査書で「知識・技能・理解」を中心に総合的に評価します。

（5）私費外国人留学生選抜

日本留学試験で、日本語力を含めて「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

【食料農学科】

1 学科概要

食料農学科では、人類の生存基盤である食料の生産とそれを基にした食品に関わる知識と技術の教育と研究を行い、地域・国際社会での食料生産、食品供給、健康分野における課題解決や新しい価値の創出を通じて、健康で持続的な食料と食品の生産・供給を担う人材を育成します。

2 コース概要

＜農学コース＞

農学コースでは、農作物の栽培技術の高度化とその生産基盤となる土壌の保全、植物の生産性・機能性の向上、品種開発、植物ウイルスを利用した先端技術の開発、食料安全保障を支える政策・戦略などに関わる教育・研究を通じて、持続的な食料生産のため農業および食品産業の問題解決に貢献できる人材を育成します。

＜食品健康科学コース＞

食品健康科学コースでは、食材や食品、その成分の物理的・化学的特性、高度な食品加工に関する知識や技術、食品、栄養および天然資源の健康機能性などに関わる教育・研究を通じて、国内外の食品産業の発展や超高齢社会において食を通じた人の健康に寄与できる科学的な知識と広い視野を備えた人材を育成します。

3 入学者に求める資質（求める学生像）

＜農学コース＞

（１）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 農学および農学を取り巻く学問体系を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 農作物や農業生物を有益な資源として生かすために技術を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人

（２）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 持続的な食料の安定生産・供給を実現するための戦略・論理・技術を学ぶ意欲のある人
- ・ グローバルな視点から、農業および食品産業の抱える諸問題の解決に積極的に取り組む意欲のある人

＜食品健康科学コース＞

（１）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 食品素材の特性の解明と応用を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 食品・栄養成分の体内での動きの解明とその健康への関わりを学ぶのに相応しい基礎学力を有する人

（２）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 健康と食品機能について専門的知識を修得する意欲のある人
- ・ 食品・栄養成分、天然資源の化学的特性と生体利用の解明について専門的知識を修得する意欲のある人
- ・ 食や健康に関する課題に対応した高度な食品加工に関する知識と技術を修得する意欲のある人

【生命科学科】

1 学科概要

生命科学科では、生命科学、すなわち植物学・動物学・微生物学・健康科学など様々な学問の基礎的かつ共通部分における分子レベルでの知識と理解をベースに、様々な問題を解決し教育に展開することで、地球環境問題の解決、種の多様性の次世代への保存、健康寿命の延長など、次世代の諸問題の解決を先導できる人材を育成します。

2 コース概要

＜分子生物機能学コース＞

分子生物機能学コースでは、微生物、植物、昆虫、動物など様々な生き物の細胞や個体レベルで見られる多種多様な生物機能に関する分子レベルの解明を教育に還元することで、自ら発想し行動する力、独創性ならびに柔軟な対応力を養成し、グローバル化する社会でその力を発揮できる、自律性や判断力を持つ人材の養成を行います。

＜分子生命医科学コース＞

分子生命医科学コースでは、微生物から動物、ヒトに至るまでの生命現象を分子レベルで解明し、その知見を健康衛生、疾病の予防、再生医療技術などに生かし、人々の生活の質向上に寄与できる人材を育成します。

3 入学者に求める資質（求める学生像）

＜分子生物機能学コース＞

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 微生物、植物、昆虫、動物などの生物機能を学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 生物機能の分子レベルでの解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 生物機能に関する知識を習得し、実験、研究科目を学ぶ中で、自ら発想し行動できる人
- ・ 教育成果をベースにバイオテクノロジーのフロンティアを築くことができる人

＜分子生命医科学コース＞

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 生物多様性の重要性、感染症や疾患、老化現象を分子レベルで学ぶのに相応しい基礎学力を有する方
- ・ 生命現象の分子レベルで解明と応用を学ぶのに相応しい基礎学力を有する方

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 健康衛生、疾病の予防、再生医療技術などに生かし、人々の生活の質向上に寄与できる人
- ・ 生命科学に関わる諸問題に取り組み、活躍することができる人

【地域環境科学科】

1 学科概要

地域環境科学科では、持続可能な食と農の科学、地域生態系の保全、森林資源の管理と持続的な利用、持続的農業生産と環境管理、農業インフラの整備、スマート農業システムの導入、グリーントランスフォーメーションについて、地球環境問題とSDGs達成を念頭に置いた教育を介して、未来の農林業を担う人材を育成します。

2 コース概要

＜革新農業コース＞

革新農業コースでは、農業と食を切り拓く革新的な農業技術について総合的に学びます。これをもとに、グローバルな視点と高度な専門知識を備えて地域農業を先導するとともに、持続可能な食料・農業・農村システムの実現に向けた取り組みを通じてSDGs達成に貢献できる人材を育成します。

＜森林科学コース＞

森林科学コースでは、東北地域の恵まれた自然環境を背景として、森林の持つ多様な環境保全機能や樹木資源の生産と利用、自然生態系の保全・管理、防災を含めた幅広い分野について総合的に学びます。これをもとに、自然との共生関係を築きながら発展できる地域社会の実現に貢献する人材を育成します。

3 入学者に求める資質（求める学生像）

＜革新農業コース＞

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 農業生産インフラ整備と農村環境の保全、地域のネットワークづくりを学ぶのに相応しい基礎学力を有する人
- ・ スマート農業、次世代型食料システムの創出に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 地域資源の適切な利用・管理と農村環境の保全、および地域振興について多面的に学ぶ意欲のある人
- ・ スマート農業、持続的な食料供給システムと資源の有効利用に関する最新技術を学ぶ意欲のある人

＜森林科学コース＞

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 森林科学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 多様な機能を活かした森づくりと利用・保全に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 多様な機能を発揮できる森づくりと林産資源の利用に必要な知識と技術を学ぶ意欲のある人
- ・ 里地里山を含む地域生態系の保全と管理および防災の方策について学ぶ意欲のある人

【動物科学・水産科学科】

1 学科概要

動物科学・水産科学科では、畜産物および水産物の生産と供給を担う2つの産業基盤を背景とした教育・研究を行うとともに、野生動物や海洋生物の生理・生態とそれらの有益な利用方法に関する知識および技術の教育・研究を行い、動物・水産資源の安定的な生産と供給、その高度利用に貢献する人材を育成します。

2 コース概要

＜動物科学コース＞

動物科学コースでは、産業動物生産（畜産）と野生動物の保護・管理に関する知識および技術に関する教育・研究を基盤とし、産業動物を中心に様々な動物種における生理機能の解明、遺伝的改良と増殖、飼料生産と栄養・飼養、および動物資源の有効利用などを通じて、人と動物が共生する豊かな地域社会の創造に資する人材を育成します。

＜水産システム学コース＞

水産システム学コースでは、水産業に関わる基礎的な知識や技術に関する教育・研究を基盤とし、水産資源の生産（漁獲、増養殖）から、加工、流通にいたる一連のシステムを体系的に教育し、釜石キャンパスを活用することで、三陸沿岸域の水産業の復興、わが国の水産業成長産業化に寄与できる人材を育成します。

3 入学者に求める資質（求める学生像）

＜動物科学コース＞

- (1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力
 - ・ 動物生産および動物科学に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人
 - ・ 生命現象の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- (2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性
 - ・ 動物科学への強い関心を有し、課題の探求と解決に取り組む意欲のある人
 - ・ 動物に関連した産業の諸問題の探求と解決に取り組む意欲のある人
 - ・ グローバルな視点から、動物に関連した産業の持続的発展に積極的な意欲を有する人

＜水産システム学コース＞

- (1) 知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力
 - ・ 水産資源の管理・生産、その利活用、流通・販売に関する学問領域を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
 - ・ 日本と世界の水産業の持続的発展の問題解決に必要な基礎的な思考・判断力を有する人
- (2) 関心・意欲・態度・主体性・協働性
 - ・ 三陸地域の社会と水産業に関心を持ち、東日本大震災からの復興と水産業の課題に取り組む意欲のある人
 - ・ 日本と世界の水産業の持続的発展の諸課題に関心を持ち、問題解決に取り組む意欲のある人
 - ・ 高い倫理観を持ち、持続的水産業構築の諸課題について積極的に携わる態度を備えた人

＜別表＞選抜に活用する評価方法とその評価項目

(1) 選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
小論文	学校推薦型 編入学	文章を客観的に読解把握する力、内容に対する自らの考え方を述べる力、農学に関連する基礎学力について評価します。
個人面接	一般（後期） 学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生	複数の面接担当者による個人面接を行います。
個人面接 （口頭試問含む）	編入学	複数の面接担当者による個人面接を行います。また、基礎学力を確認するために、口頭試問を行います
出願理由書	学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生	出願時に入学を希望する理由を本人が記入し、面接時に評価します。
調査書＊	一般（前期） 学校推薦型 総合型Ⅱ 編入学	学習の記録を中心に総合的に評価します。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目

入学者選抜方法	該当選抜区分	知識・技能・理解	思考力・ 判断力・ 表現力	関心・意欲・態度	主体性・ 協働性
大学入学共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 総合型Ⅱ	○	○		
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期）	○	○		
小論文	学校推薦型 編入学	○	○		
個人面接	一般（後期） 学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生		○	○	○
個人面接 （口頭試問含む）	編入学	○	○	○	○
出願理由書	学校推薦型 総合型Ⅱ 私費外国人留学生			○	○
調査書＊	一般（前期） 学校推薦型 総合型Ⅱ 編入学	○		○	○
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○		

＊一般選抜（後期日程）においては、調査書は、高大接続及び学力の3要素評価の観点から、総合判定の資料として活用します。

入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：獣医学部

1 学部概要

獣医師は人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき、高度獣医療の提供、人類の健康と食の安全、生命科学研究の発展に活躍できる国際的な視野を持つ人材を育成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像）

（1）知識・技能・理解・思考力・判断力・表現力

- ・ 獣医学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- ・ 動物の生命現象と病態に関する課題を探究し、グローバルな視野から論理的に解決する思考力を有する人

（2）関心・意欲・態度・主体性・協働性

- ・ 動物の生命現象と病態に関心を持ち、それを継続して探究しようとする意欲のある人
- ・ 自己を啓発し実行力に優れ、獣医学の発展ならびに社会に貢献しようとする意欲のある人
- ・ 獣医師として、国際的な交流・協力を推進し、世界に学び世界に貢献しようとする意欲のある人

3 地域枠入試で求める学生像

上記の入学者に求める資質に加え、卒業後に産業動物獣医師に就業する明確な意思を持ち、産業動物獣医師として地域社会の発展に貢献する意欲のある人を求めます

4 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 理科、数学、情報：内容の理解と応用力
- ・ 英語、国語：基礎的な読解力、表現力、文章力
- ・ 地歴・公民：基礎的内容の理解

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

5 入学者選抜の基本方針

（1）一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別学力検査で「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。調査書で「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

（2）総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

大学入学共通テストで「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価し、調査書で「知識・技能・理解」を中心に総合的に評価します。

（3）私費外国人留学生選抜

日本留学試験で、日本語力を含めて「知識・技能・理解」「思考力・判断力・表現力」を評価します。個人面接および出願理由書で「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「主体性・協働性」を評価します。

＜別表＞選抜に活用する評価方法とその評価項目

（１）選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
個人面接	総合型Ⅱ 私費外国人留学生	複数の面接担当者による個人面接を行います。総合型Ⅱでは、当日提示される課題に対して自らの考えを説明する面接を行います。
出願理由書	総合型Ⅱ 私費外国人留学生	出願時に入学を希望する理由を本人が記入し、面接時に評価します。
調査書	一般（前期） 総合型Ⅱ	学習の記録を中心に総合的に評価します。

（２）選抜に活用する内容の重点評価項目

入学者選抜方法	該当選抜区分	知識・技能・理解	思考力・ 判断力・ 表現力	関心・意欲・態度	主体性・ 協働性
大学入学共通テスト	一般（前期） 総合型Ⅱ	○	○		
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期）	○	○		
個人面接	総合型Ⅱ 私費外国人留学生		○	○	○
出願理由書	総合型Ⅱ 私費外国人留学生			○	○
調査書	一般（前期）			○	○
	総合型Ⅱ	○		○	○
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○		

なお、総合型選抜Ⅱで第１段階選抜を行う場合は、出願理由書、調査書をアドミッション・ポリシーに照らして総合的に評価します。